

No. 514
2014年
5月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 第5回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第5回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

提出書類：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦締切：2014年9月30日

推薦書送付先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

* 受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2015年春季研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

なお、「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を

行う予定です。

詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf>
をご覧ください。

(表彰委員会)

● 2014年秋季シンポジウム（第72回）

日 程：2014年8月27日（水）13:00～

場 所：北海道科学大学

実行委員長：加地太一（小樽商科大学）

● 2014年秋季研究発表会

日 程：2014年8月28日（木）、29日（金）

場 所：北海道科学大学

実行委員長：大堀隆文（北海道科学大学）

● 2015年春季シンポジウム（第73回）

日 程：2015年3月25日（水）

場 所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

● 2015年春季研究発表会

日 程：2015年3月26日（木）、27日（金）

場 所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

実行委員長：矢部 博（東京理科大学）

● 2014年度研究部会・グループについて

先に募集を行いました2014年度研究部会・グループに関しまして、今回も多数の申請書が提出されました。研究活動の公開性、実績等に照らして審査を行いました結果、別表の通り研究部会・研究グループを設定いたしました。（☆印は新設）

参加ご希望の方は、各部会・グループの主査または幹事までご連絡ください。

(研究普及委員会)

● 2014年度研究部会・グループ一覧表

* 詳しくは、学会WEB掲載の各部会WEBをご覧ください。

2014年度 常設研究部会

	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	三好直人 (東京工業大学) miyoshi@is.titech.ac.jp	井家 敦 (神奈川工科大学) inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp
2	数理計画 (RAMP)	松井知己 (東京工業大学) matsui.t.af@m.titech.ac.jp	清見 礼 (横浜市立大学) masashi@yokohama-cu.ac.jp
3	評価のOR	関谷和之 (静岡大学) sekitani@sys.eng.shizuoka.ac.jp	筒井美樹 (電力中央研究所) miki@criepi.denken.or.jp
4	意思決定法	田地宏一 (名古屋大学) taji@nuem.nagoya-u.ac.jp	西澤一友 (日本大学) nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp
5	サプライチェーン戦略	米沢 隆 (日本アイ・ビー・エム(株)) yonezat@jp.ibm.com	草刈君子 ((株)サイテック・ジャパン) kimiko.kusakari@nifty.com

2014年度 研究部会

	部 会 名	主 査	幹 事
1	最適化の理論と応用	牧野和久 (京都大学) makino@kurims.kyoto-u.ac.jp	小林佑輔 (東京大学) kobayashi@mist.i.u-tokyo.ac.jp
2	数理的手法の展開と応用	金子宏之 (小松短期大学) hiroyuki_kaneko@komatsu-c.ac.jp	武市祥司 (金沢工業大学) takechi@neptune.kanazawa-it.ac.jp
3	サービス・イノベーションへの数理的アプローチ	高木英明 (筑波大学) takagi@sk.tsukuba.ac.jp	雑賀憲彦 (名城大学) nsaiga@urban.meijo-u.ac.jp
4	大規模インフラストラクチャーのOR	三浦英俊 (南山大学) hmiura@nanzan-u.ac.jp	鳥海重喜 (中央大学) toriumi@ise.chuo-u.ac.jp
5	食べものとOR	石井博昭 (関西学院大学) ishiihiroaki@kwansei.ac.jp	関 宏理 (関西学院大学) seki@kwansei.ac.jp
6	不確実性システムにおける意思決定	木庭 淳 (兵庫県立大学) kiniwa@econ.u-hyogo.ac.jp	小出 武 (甲南大学) koide@konan-u.ac.jp
7	複雑系とOR	木下正博 (北海道科学大学) kino@hus.ac.jp	西川孝二 (北海道科学大学) nishikawa@hus.ac.jp
8	ORにおけるゲーム理論	渡辺隆裕 (首都大学東京) taka3.watanabe@nabenavi.net	梅澤正史 (東京理科大学) omezawa@rs.tus.ac.jp
9	OR普及のためのモチベーション教育	大堀隆文 (北海道科学大学) oohori@hus.ac.jp	加地太一 (小樽商科大学) tkaji31@gmail.com
10	安全・安心・強靱な社会とOR	神藤 猛 (千葉大学) shindo@chiba-u.jp	横谷大輔 (航空自衛隊) yokoya4427@inet.asdf.mod.go.jp
11	確率モデルとその応用	穴太克則 (芝浦工業大学) k-ano@shibaura-it.ac.jp	吉良知文 (東北大学) a-kira@econ.tohoku.ac.jp 堀口正之 (神奈川大学) horiguchi@kanagawa-u.ac.jp
12	公共的社会システムとOR	諸星穂積 (政策研究大学院大学) morohosi@grips.ac.jp	田中健一 (慶應義塾大学) ken1tnk@ae.keio.ac.jp
13	信頼性	土肥 正 (広島大学) dohi@rel.hiroshima-u.ac.jp	肖 霄 (首都大学東京) xiaoxiao@tmu.ac.jp
14	ビッグデータとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) hsuzuki@ae.keio.ac.jp	高野祐一 (専修大学) ytakano@isc.senshu-u.ac.jp 横山 暁 (帝京大学) satoru@main.teikyo-u.ac.jp
15	リーマンマネジメントシステム	中島健一 (神奈川大学) nakasima@kanagawa-u.ac.jp	蓮池 隆 (大阪大学) thasuke@ist.osaka-u.ac.jp

2014年度 研究グループ

	グループ名	主 査	幹 事
1	都市と地域のOR	大澤義明 (筑波大学) osawa@sk.tsukuba.ac.jp	石井儀光 ((独)建築研究所) ishii@kenken.go.jp

● 新設研究部会・グループ紹介

【安全・安心・強靱な社会とOR】

今日、安全・安心の要請と相まって、大規模災害からサイバー攻撃、感染症に至る多様なインシデントを防ぐ強靱な社会が求められています。本部会は、この分野のOR研究を推進し、広く普及します。

【確率モデルとその応用】

確率モデルはもちろん、最適停止問題、ファジィ理論、決定理論、統計解析などの研究を、ベルマンナビリティのもと、経営、経済、工学、ファイナンス、スポーツ等への応用とともに取り組んでまいります。

【公共的社会システムとOR】

ORの理論と手法を、公共諸部門におけるさまざまな社会システムに対して応用する可能性を探る。また、研究者と実務に携わる人々の活発な情報交換の場となることを目指し、学際的に開かれた研究を目指す。

【信頼性】

数理モデルや故障統計などの基礎理論から、計算機・ネットワークシステムに代表される基盤インフラの信頼性評価に関する応用まで、先端的研究成果に関する幅広い情報交換の場を提供することを目指す。

【ビッグデータとマーケティング分析】

ビッグデータとマーケティング分析に関する分析の動向の調査、それらの環境を踏まえた情報技術、データ解析およびマーケティングを統合した方法論やフレームワークに関する研究、分析事例について発表・議論していく。産学の専門家による講演会とデータ解析コンペティションの開催により参加者の交流を図る。

【リーンマネジメントシステム】

環境やヒトに優しいリーン（無駄のない）な経営システムの構築に向け、多様な観点からシステムを俯瞰的にとらえ、OR的アプローチを駆使して、次世代におけるリーンマネジメントシステムの提案を試みる。

● 研究部会・グループ開催案内

【OR普及のためのモチベーション教育】と【複雑系とOR】 ・第6回合同部会

日時：2014年5月16日（金）18:00～20:00

場所：小樽商科大学札幌サテライト中講義室

テーマと講師：

- (1) 「研究部会“OR普及のためのモチベーション教育”の2年目の活動方針」
大堀隆文（北海道科学大学）
- (2) 「研究部会“複雑系とOR”の2年目の活動方針」
木下正博（北海道科学大学）

問合せ先：

OR普及のためのモチベーション教育

主査：大堀隆文（北海道科学大学）

E-mail: oohori@hus.ac.jp

幹事：加地太一（小樽商科大学）

E-mail: tkaji31@gmail.com

複雑系とOR

主査：木下正博（北海道科学大学）

E-mail: kino@hus.ac.jp

幹事：西川孝二（北海道科学大学）

E-mail: nishikawa@hus.ac.jp

【待ち行列】

・第247回

日時：2014年5月17日（土）14:00～17:00

場所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館
（W）809号室

テーマと講師：

- (1) 「2次元反射型ランダムウォークにおける構造的可逆性」
*小林正弘、宮沢政清（東京理科大学）、
清水 宏（日本ユニシス）
- (2) 「2ステーション待ち行列ネットワークの安定性について」
小沢利久（駒澤大学）

問合せ先：井家 敦（神奈川工科大学）

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

部会URL：<http://www.orsj.or.jp/queue/>

〔信頼性〕

・第1回

日時：2014年5月23日(金) 10:00～12:00

場所：金城学院大学(名古屋市守山区大森2-1723)

テーマと講師：

- (1)「最近の信頼性評価手法について」
大鑄史男(名古屋工業大学大学院工学研究科)
- (2)「信頼性理論を取り巻く状況」
小和田 正(名古屋工業大学名誉教授)

問合せ先：肖 霄(首都大学東京)

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

〔サービス・イノベーションへの数理的アプローチ〕

・第5回(共催：筑波大学システム情報系)

日時：2014年6月9日(月) 13:30～16:30

場所：筑波大学筑波キャンパス 春日エリア
情報メディアユニオン2階メディアホール
つくばエクスプレス「つくば駅」から徒歩7分

テーマと講師：

- (1)「「おもてなし」型価値共創とそのみえる化—伝統旅館「加賀屋」の事例に学ぶサービス価値の推移」
中村孝太郎((株)イー・クラフト)
- (2)「和食レストランにおけるサービス工学による生産性向上の事例」
新村 猛(がんこフード(株))

問合せ先：筑波大学システム情報系 高木英明

Tel: 029 (853) 5414

E-mail: takagi@sk.tsukuba.ac.jp

参加費無料・事前申込は不要です。

● 新宿OR研究会案内

〔第338回 新宿OR研究会〕

日時：2014年5月20日(火) 12:00～14:00

場所：東天紅会議室(新宿センタービル53F)

講師：川中子敬至(足利工業大学創生工学科教授)

テーマ：「高校生の視点に基づく地域の利便性評価」

参加費：3,000円(事前にメールにてお申し込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 教員公募案内

・鳥取大学大学院 社会経営工学講座

募集人員：教授1名

所属：社会基盤工学専攻 社会経営工学講座

専門分野：環境改善に関わる分野

担当授業科目：

(大学院) 環境システム工学

(学 部) 循環型社会論, 環境計画学, 及び数学等の基礎科目

応募条件：

- 1) 博士またはPh.D.の学位を有し, 大学院博士後期課程を担当できる方。
- 2) 環境工学や衛生工学に関わる知識及び実験経験を有し, 水環境や微生物を利用して持続可能な社会を目指す環境問題の課題に関する研究が行えること。
- 3) 男女共同参画に関わる業務実績を持ち, 理工系分野における女性のキャリア形成に関する教育が行えること。
- 4) 地方社会における男女共同参画事業に関して産官との連携プロジェクト等の創出に積極的に取り組む意欲と能力を有すること。
- 5) 女性限定(「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定により, 女性研究者の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として)。

着任時期：2014年10月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類：①履歴書 ②教育歴 ③研究歴 ④その他の活動歴 ⑤着任後の抱負 ⑥研究業績リスト ⑦所見を伺える方の照会先(2名)または推薦状(2通) ⑧主要な査読付学術論文の別刷り(コピー可)：5編

応募締切：2014年5月16日(金) 必着

選考方法：専攻内選考(1次：書類審査, 2次：面接(プレゼンテーションを含む))及び研究科内選考

問合せ先及び送付先：

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101

鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻

社会経営工学コース長 山田 茂

TEL: 0857-31-5303/FAX: 0857-31-0882

E-mail: yamada@sse.tottori-u.ac.jp

(封筒表面に「教員応募書類在中」と朱書し, 簡易書留郵便又は宅配便にて送付のこと。)

URL: <http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>

・早稲田大学 理工学術院 創造理工学部・研究科 経営システム工学科・専攻

所属：早稲田大学 理工学術院 創造理工学部・研

究科 経営システム工学科・専攻

職 位：専任講師，または准教授，または教授

※職位は，教育・研究歴及び年齢などによって早稲田大学が決定致します。

募集人員：2名

研究領域：オペレーションズリサーチとその関連領域への応用

※経営システム工学への活用に貢献できる方，将来的課題を掘り起こし，新たな領域を切り開くポテンシャルを持った，創造性豊かな研究テーマへ取り組んでこられた方を期待します。

担当科目：「基礎オペレーションズリサーチ」「オペレーションズリサーチ演習」「オペレーションズリサーチA, B」「確率とその応用」「情報処理基礎演習」などのオペレーションズリサーチ及びその周辺科目，また，大学院の関連科目など，1名あたり，大学が規定する科目数を担当していただきます。

さらに，3年生秋学期のゼミ指導，4年生通年の卒業論文指導，大学院生の修士論文，博士論文の指導を行っていただきます。

応募資格：

- 1) 博士の学位を有する方，または，2015年4月1日までに博士の学位を取得見込みの方。
- 2) 研究と教育の双方に情熱を持っておられる方。
- 3) 他の教員と協力して，学部・専攻・学科の運営に力を注いでいただける方。

着任時期：1名は2015年4月1日，もう1名は2016年4月1日

※着任時期は選考過程で相談させていただきます。

応募締切：2014年7月10日(木)17時(日本時間)(必着)

URL：http://www.mgmt.waseda.ac.jp/882

*提出書類・選考方法・書類提出先などを含め，詳細はURLをご確認ください。

● 新入会員 (2014年4月理事会承認分)

—賛助会員A種—

アビームコンサルティング(株)

—賛助会員B種—

(株)うえじま企画

—正会員—

澤 直記 神奈川大学

菴木 嶺 (株)構造計画研究所

—学生会員—

久禮 寛大 大阪大学〔関西支部〕

成澤 龍人 中央大学

篠原 裕佑 東京電機大学大学院

早川 和樹 サレジオ工業高等専門学校

中司 桂一 広島大学大学院〔中四国支部〕

龍野 元樹 早稲田大学大学院

中原 凌 早稲田大学大学院

廣瀬 貴也 早稲田大学

塚田 悠太 文教大学

サリッディチャイナインター プーチット

大阪大学〔関西支部〕

弘田 卓也 早稲田大学大学院

山下 恭範 政策研究大学院大学

石原 響太 東京大学大学院

*支部表記のない方は本部所属です。

2014年度年会費納入のお願い

2014年度年会費の請求書を11月に発送いたしました。納入期限は2013年12月末までとなっておりますので、お早めにご入金くださいますようお願いいたします。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

なお、2013年度・2014年度は、「学生会員年会費無料化キャンペーン」中につき、学生会員の方には、請求をいたしません。

*預金口座自動振替の方（正会員のみ）は2014年1月20日に引き落とし済みです（新規の受付はしていません。）

*OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

学生会員年会費無料化キャンペーン

① 2013年度・2014年度の学生会員年会費5,000円は無料といたします。新入会の方は、WEBより入会申し込みの手続きをし、入会金600円のみを振り込んでください。

② 2013年度年会費をすでに払込の学生会員の方には、ご指定の口座に返金いたします。

③ ①②とも正会員である指導教員様より「学生会員年会費無料化キャンペーンに応募」する旨のメールを、「教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属先、メールアドレス」を明記して、学会事務局までお送りください。

④ 当該学生が卒業、就職などにて2013年度末（2014年2月末日）退会の場合は、お手数ですが、指導教員様より事務局にご連絡ください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

学会事務局までお問合せください。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員 14,400円、
学生会員 5,000円、
シニア会員 7,200円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

*手数料は払込人負担をお願いいたします。

*会員番号とお名前は必ずお書きください。

メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようお願い申し上げます。

アドレス変更の場合、各自で旧アドレスは脱退、新メールアドレスで参加登録の手続きをしてください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先／学生会員→正会員への変更／退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。

学会事務局休業のお知らせ

OR学会創立記念日：5月23日(金)